

全国映画館で
絶賛公開中！

くらしのうつりかわり展  とその時代 映画に見る昭和のくらしー



©2007「母べえ」製作委員会

文化博物館だより 第207号

2008年3月11日

監督=山田洋次 主演=吉永小百合

みなさん、こんにちは。シンコ漁解禁や黄砂など、春の話題が聞かれるようになってきました。寒い日が続きますが、すこし陽射しも少しやわらかくなってきたようにも感じます。

江井島小から届きました！

2月8日(金)に「『母(かあ)べえ』とその時代」を見学に訪れた江井島小学校3年生の子ども達から、手紙が届きました。「昔の道具や遊びが勉強になりました」「『黄金バット』の紙しばいが面白かった」の他、「『母べえ』の時代と今の時代の違いがわかりました」と書いている子も。

展示をただ見るだけでなく、文博ボランティアやあかねが丘学園のボランティアの活動で、子ども達は学校での学習とは違った経験ができたようです。



かわいい表紙をつけて送ってくれました！

映画作り体験教室

今回のくらし展は、「映画に見る昭和のくらし」ということで、映画作りを体験してもらおうイベントが、今月1日(土)と2日(日)に行なわれました。講師は、映像制作のプロ・荒木泰晴さん、アシスタントとして中村忍さんが来られました。

参加者は、プロが使う16mmカメラや35mmカメラを触り、ファインダーを覗いてみるころから始めました。フィルムをセットするのは手順があり、一人ずつやってみますが、なかなか荒木さんのOKが出ません。10分以上かかることもあってなかなか難しいのですが、現場ではフィルムが感光しないように黒い覆いをし



て手探りでセットするそうです。その後、つながりを考えながらフィルムを切り、セロテープでつないでいく編集の作業も体験しました。



フィルムをセットするのも難しい！

最後に、中村さんが監督した『放課後とキャンディ』(小田原映画祭ショートフィルム部門グランプリ作品)を鑑賞。会の終了後も、映画に関わる仕事をしたいという参加者と講師お二人の話が続いていました。

次世代のクリエイターを育てるため、荒木さんが開設したHPは以下。初心者がカメラに触れて操作を覚えられる機会を作っています。

[16mm film trial room] <http://www.banrifilm.com/>

サイエンスカフェ

当館の東隣にあるカフェレストラン・ゴヤで、「サイエンスカフェ」というイベントが行なわれました。サイエンスカフェというのは、全国的に気運が高まっている試みで、お茶を飲みながらカップを片手に気軽に科学などの話題について語り合うという趣旨で行われているものです。



県下では神戸市内で2005年から開催され、神戸以外での開催は、今回が初。話題は毎回違って、今回のお題は「海に生きるものたちのいま - 大阪湾・瀬戸内海の生物と環境」。神戸市立須磨海浜水族園の佐名川洋之さんをゲストに迎えて、瀬戸内海を眺めながら30数名の参加者たちが、積極的に質問したり自分の意見を述べたりと、強い関心をもって楽しんでいる様子でした。

話題はイカナゴの生態など地元に着したもので

詳しく知りたい方は、サイエンスカフェ神戸のHPへ

「さおり織」受付中です！

3月15日(土)に文博ボランティア・はた織グループが行なうコースター作りの申込みが現在、受付中です(電話：078-918-5400)。参加費100円で、カラフルなさおり織ができますよ。

同じ日に紙芝居も行ないます。ご観覧とともに、ぜひご参加下さい。

2008年度の展覧会のご案内(春)

春季特別展 『源氏物語千年紀 石山寺の美 - 観音・紫式部・源氏物語 - 』

会期：4月5日(土)～5月11日(日) 会期中無休

観覧料：大人1,000円 高校・大学生700円 小学・中学生500円

企画展 『自然と造形 小倉健 作陶展 併設=兵庫の陶磁 08 三田焼 』(仮称)

会期：5月17日(土)～6月15日(日) 月曜休館

観覧料：未定

企画展 『郷土作家シリーズ 橋をみつめて - 桧山厚写真展 - 1部 - 』(仮称)

会期：6月21日(土)～7月13日(日) 月曜休館

観覧料：未定

皆さんのお宅では、イカナゴを炊きますか？我が家は、母が毎年作っています。私は食べる方の専門です。市販されているのとはまた違って、おいしいですよ。